

## 安全性データシート

改定日: 2022年11月1日

前作成日: 2019年12月5日

SDS番号: 133-22

### セクション 1: 物質 / 混合物、および企業 / 業務の識別

#### 1.1. 製品識別

615 HTG #2

#### 1.2. 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途: 石油ベースの潤滑剤 重負荷、高温用の高性能多目的グリース。

使用上の制限: データなし

#### 1.3. 安全性データシートのサプライヤ情報

会社:

A.W. CHESTERTON COMPANY

860 Salem Street

Groveland, MA 01834-1507, USA

電話: +1 978-469-6446 Fax: +1 978-469-6785

(月-金: 8:30-5:30 PM 東部標準時)

SDSの要求: [www.chesterton.com](http://www.chesterton.com)

Eメール (SDSに関する質問): [ProductSDSs@chesterton.com](mailto:ProductSDSs@chesterton.com)

Eメール: [customer.service@chesterton.com](mailto:customer.service@chesterton.com)

供給元:

#### 1.4. 緊急時電話番号

1日24時間、年中無休

Infotrac (追跡) 電話番号: +1 352-323-3500 (料金受信人払い通話)

### セクション 2: 危険有害性の要約

#### 2.1. 物質または混合物の分類

##### 2.1.1. GHS/欧州規制1272/2008 [CLP]による分類

GHSによれば、本製品はいずれの危険物クラスにおいても分類基準を満たしていません。しかしながら、健康や環境を害する物質が最低1種含まれているので、要求に応じて安全データシートが供給されます。

##### 2.1.2. 追加情報

なし

#### 2.2. ラベル項目

GHS/欧州規制1272/2008 [CLP]によるラベル付け

危険の絵表示: なし

信号語: なし

危険有害性情報: なし

使用上の注意: なし

補足情報: EUH208

ベンゼンスルホン酸、C10-16-アルキル誘導体、カルシウム塩、スルホン酸、石油、カルシウム塩をおよびベンゼンスルホン酸、モノ-C16-24-アルキル誘導体、カルシウム塩含みます。アレルギー反応を起こすことがあります。

## 2.3. その他の危険性

なし

## セクション 3: 組成、成分情報

## 3.2. 混合物

危険成分 <sup>1</sup>	重量%	CAS番号	GHS分類	特定の濃度制限、Mファクター、ATE
ベンゼンスルホン酸、C10-16-アルキル誘導体、カルシウム塩	1-5	68584-23-6	皮膚感作性 1B, H317	ATE (経口): > 5,000 mg/kg ATE (経皮): > 5,000 mg/kg ATE (吸入、ミスト): > 1.9 mg/l
カルシウム スルホン酸ドデシルベンゼン	1-3	26264-06-2	急性毒性 4, H302 皮膚刺激性 2, H315 眼に対する重篤な損傷性 1, H318 水生慢性 4, H413	ATE (経口): 1,300 mg/kg ATE (経皮): > 5,000 mg/kg
スルホン酸、石油、カルシウム塩	1-3	61789-86-4	皮膚感作性 1B, H317	ATE (経口): > 5,000 mg/kg ATE (経皮): > 5,000 mg/kg ATE (吸入、ミスト): > 1.9 mg/l
ベンゼンスルホン酸、モノ-C16-24-アルキル誘導体、カルシウム塩	0.1-1	70024-69-0	皮膚感作性 1B, H317	ATE (経口): > 5,000 mg/kg ATE (経皮): > 5,000 mg/kg ATE (吸入、ミスト): > 1.9 mg/l
その他の成分:				
蒸留物(石油)、溶剤で精製した重パラフィン系*	60-70	64741-88-4	分類されていません**	ATE (経口): > 5,000 mg/kg ATE (経皮): > 2,000 mg/kg ATE (吸入、ミスト): > 5.53 mg/l
炭酸カルシウム	10-20	471-34-1	分類されていません**	ATE (経口): 6,450 mg/kg

H(危険)ステートメントの全文: セクション16を参照。

\*IP 346の測定によるとDMSO抽出物の含有量は3%以下。

\*\*職場での暴露限界のある物質。

<sup>1</sup>分類基準: \* 労働安全衛生法

\* 毒物および劇物取締法

\* GHS, 1272/2008/EC, REACH

**セクション 4: 応急処置****4.1. 応急処置情報**

- 吸入：** 新鮮な空気のある場所へ移動してください。呼吸が停止している場合は、人工呼吸を実行してください。医師の診断を受けてください。
- 皮膚への付着：** 石鹼水で皮膚を洗浄してください。刺激が持続する場合は医師の診断を受けてください。
- 目に入った場合：** 大量の水で目を最低15分間洗い流してください。直ちに医師の診断を受けてください。
- 呑み込んだ場合：** 無理に吐かせないでください。医師の診断を受けてください。
- 応急手当を行う人の保護：** 個人に対する危険がある場合や適切な訓練が行われていない場合は、行動を起こさないでください。犠牲者に手当を施している間は製品に触らないでください。個人用保護具に関する奨励事項についてはセクション888.2.2参照してください。

**4.2. 最も重要な徴候と影響（急性および遅延）**

目に入るとかすかな刺激を与えることがあります。

**4.3. 緊急に医師の診察および特別な治療が必要な徴候**

高速皮膚注入は、感染、外観の損傷、血液欠乏などの原因となる無出血の刺創を残す恐れがあり、切断が必要になることがあります。外科専門医の治療を直ちに受けてください。

**セクション 5: 火災時の処置****5.1. 消火剤**

**適切な消火剤：** 二酸化炭素、乾燥薬品、乾燥型砂、発泡 あるいは 水霧

**不適切消火剤：** 大量の水噴射

**5.2. 物質または混合物から生じる特別な危険性**

**有害な燃焼生成物：** 一酸化炭素、二酸化炭素、酸化硫黄、酸化カルシウム、その他の有毒煙。

**その他の危険性：** 濃い煙。

**5.3. 消防の際のアドバイス**

熱に晒された容器は水で冷却してください。消防士に自給式呼吸器の着用を勧めてください。

**セクション 6: 漏出時の処置****6.1. 作業者の注意、保護装備、緊急時の手順**

セクション8で指定された露出制御と人体保護を利用してください。

**6.2. 環境に対する注意**

下水、河川、水路に流さないでください。

**6.3. 閉じ込めおよび清掃の方法・材料**

流出分は小さな場所に回収してください。吸収性の材料（砂、おがくず、クレー等）で回収し、廃棄に適した容器に入れてください。

**6.4. 他のセクションの参照**

廃棄処理についてはセクション13を参照してください。

**セクション 7: 取扱い及び保管上の注意****7.1. 安全な取扱いのための注意**

セクション8で指定された露出制御と人体保護を利用してください。飲食や喫煙の前に手を洗ってください。体内に注入した場合は直ちに治療を受けないと、患部を損失する恐れがあります。

**7.2. 安全な保管のための条件（配合禁忌を含む）**

熱や湿気のない所に保管してください。

**7.3. 具体的な最終用途**

予防策は特になし。

**セクション 8: 暴露防止及び保護措置****8.1. 管理パラメーター**

成分	日本産業衛生学会 OEL		ACGIH TLV	
	ppm	mg/m <sup>3</sup>	ppm	mg/m <sup>3</sup>
ベンゼンスルホン酸、C10-16-アルキル誘導体、カルシウム塩	N/A	N/A	N/A	N/A
カルシウム スルホン酸ドデシルベンゼン	N/A	N/A	N/A	N/A
スルホン酸、石油、カルシウム塩	N/A	N/A	N/A	N/A
ベンゼンスルホン酸、モノ-C16-24-アルキル誘導体、カルシウム塩	N/A	N/A	N/A	N/A
オイルミスト、鉍物	N/A	3	N/A	5
炭酸カルシウム	(吸引可能)	2	(吸引可能)	10 *
	(総塵)	8	(吸引可能)	3

\* 特定不能の微粒子(PNOS)

**生物学的限界値**

構成成分に対する生物学的暴露限界はありません。

**8.2. 曝露制限****8.2.1. 設備対策**

条件は特になし。許容限界を超える場合は、充分換気してください。

**8.2.2. 作業員の保護対策**

**呼吸器系の保護:** 通常不必要。許容限界を超える場合は、認可されたミスト用有機蒸気呼吸マスクを使用してください。

**手袋:** 耐薬品性手袋(例:ゴム、ニトリル)。

**目 / 顔の保護:** 安全ゴーグルあるいは眼鏡。

**その他:** 長袖、長ズボンを着用し、身体を清潔に保ち、皮膚との接触を避けてください。

**8.2.3. 環境暴露措置**

セクション6と12を参照。

## セクション 9: 物理的及び化学的性質

## 9.1. 基本的な物理・化学的性質に関する情報

形状	グリース	pH	適応せず
色	緑	動粘	100 sus @ 38° C
臭気	かすかな臭気	水溶性	ごくわずか
においの閾値	未定	分配係数:n-オクタノール/水 (Log Pow)	データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲	適応せず	20°Cでの蒸気圧	未定
融点・凝固点	未定	相対密度	0.97 kg/l
揮発率%(容量比)	0%	蒸気密度(空気=1)	> 1
引火性	データなし	蒸発率(エーテル=1)	< 1
高/低引火性あるいは高/ 低爆発限界	未定	重量比芳香物含有率(%)	0
引火点	> 190° C	爆発性	未定
方法	オープン・カップ	酸化性	未定
自己発火温度	未定	粒子特性	適応せず
分解温度	データなし		

## 9.2. その他の情報

なし

## セクション 10: 安定性及び反応性

## 10.1. 反応性

セクション10.3と10.5を参照。

## 10.2. 化学的安定性

通常の状態では安定。

## 10.3. 危険な反応の可能性

通常の使用条件では危険反応は起こっていません。

## 10.4. 避けるべき条件

炎や高熱表面。

## 10.5. 配合禁忌薬品

強酸 / 強塩基、液体塩素や濃縮酸素のような強力酸化剤。

## 10.6. 危険な分解物

一酸化炭素、二酸化炭素、酸化硫黄、酸化カルシウム、その他の有毒煙。

## セクション 11: 有害性情報

## 11.1. 毒性影響に関する情報

通常使用時の主な接触経路： 皮膚や目への付着。

## 急性毒性 -

経口: ATE-混合物 &gt; 5,000 mg/kg

物質	テスト	結果
ベンゼンスルホン酸、C10-16-アルキル誘導体、カルシウム塩	致死量50(LD50)、ラット、(OECD 401)	> 5,000 mg/kg
カルシウム スルホン酸ドデシルベンゼン	致死量50(LD50)、ラット	1,300 mg/kg
スルホン酸、石油、カルシウム塩	致死量50(LD50)、ラット、(OECD 401)	> 5,000 mg/kg
ベンゼンスルホン酸、モノ-C16-24-アルキル誘導体、カルシウム塩	致死量50(LD50)、ラット、(OECD 401)	> 5000 mg/kg
蒸留物(石油)、溶剤で精製した重パラフィン系	致死量50(LD50)、ラット	> 5000 mg/kg
炭酸カルシウム	致死量50(LD50)、ラット	6,450 mg/kg

経皮: ATE-混合物 &gt; 5,000 mg/kg

物質	テスト	結果
ベンゼンスルホン酸、C10-16-アルキル誘導体、カルシウム塩	致死量50(LD50)、うさぎ	> 5,000 mg/kg
カルシウム スルホン酸ドデシルベンゼン	致死量50(LD50)、ラット	> 5,000 mg/kg (類推)
スルホン酸、石油、カルシウム塩	致死量50(LD50)、うさぎ (OECD 402)	> 4,000 mg/kg
スルホン酸、石油、カルシウム塩	致死量50(LD50)、ラット (OECD 402)	> 5000 mg/kg
ベンゼンスルホン酸、モノ-C16-24-アルキル誘導体、カルシウム塩	致死量50(LD50)、ラット (OECD 402)	> 5000 mg/kg

吸入: 分類されていません、入手可能なデータによる

物質	テスト	結果
ベンゼンスルホン酸、C10-16-アルキル誘導体、カルシウム塩	致死濃度50(LC50)、ラット、ミスト (OPP 81-3)	> 1.9 mg/l
スルホン酸、石油、カルシウム塩	致死濃度50(LC50)、ラット、ミスト (OPP 81-3)	> 1.9 mg/l
ベンゼンスルホン酸、モノ-C16-24-アルキル誘導体、カルシウム塩	致死濃度50(LC50)、ラット、ミスト (OPP 81-3)	> 1.9 mg/l
蒸留物(石油)、溶剤で精製した重パラフィン系	致死濃度50(LC50)、ラット、ミスト	> 5.53 mg/l

皮膚腐食性/刺激性: 炎症なし、これは類似物質のデータに基づいています。

物質	テスト	結果
ベンゼンスルホン酸、C10-16-アルキル誘導体、カルシウム塩	皮膚の炎症、うさぎ (OECD 404)	炎症なし
カルシウム スルホン酸ドデシルベンゼン	皮膚の炎症、うさぎ	刺激性

**眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性：** 炎症なし、これは類似物質のデータに基づいています。

物質	テスト	結果
ベンゼンスルホン酸、C10-16-アルキル誘導体、カルシウム塩	目の炎症、うさぎ (OECD 405)	炎症なし
カルシウム スルホン酸ドデシルベンゼン	目の炎症、うさぎ (OECD 405)	激しい刺激
スルホン酸、石油、カルシウム塩	目の炎症、うさぎ	炎症なし
ベンゼンスルホン酸、モノ-C16-24-アルキル誘導体、カルシウム塩	目の炎症、うさぎ	炎症なし

**呼吸器または皮膚の感作：** 皮膚の過敏症を起こしません。これは類似物質のデータに基づいています。ベンゼンスルホン酸、C10-16-アルキル誘導体、カルシウム塩、スルホン酸、石油、カルシウム塩、ベンゼンスルホン酸、モノ-C16-24-アルキル誘導体、カルシウム塩：  
低度から中程度の皮膚の過敏症が人に起こる可能性あるいは証拠があります。

**胚細胞突然変異原性：** データがないので分類されていません。

物質	テスト	結果
ベンゼンスルホン酸、C10-16-アルキル誘導体、カルシウム塩	エイムズ試験 (OECD 471)	陰性 (類似物質)
ベンゼンスルホン酸、C10-16-アルキル誘導体、カルシウム塩	インビトロ試験、OECD 476	陰性 (類似物質)
ベンゼンスルホン酸、C10-16-アルキル誘導体、カルシウム塩	小核試験、マウス、経口	陰性
カルシウム スルホン酸ドデシルベンゼン	エイムズ試験 (QSAR)	陰性
スルホン酸、石油、カルシウム塩	エイムズ試験 (OECD 471)	陰性 (類似物質)
スルホン酸、石油、カルシウム塩	インビトロ試験、OECD 476	陰性 (類似物質)
ベンゼンスルホン酸、モノ-C16-24-アルキル誘導体、カルシウム塩	エイムズ試験 (OECD 471)	陰性
ベンゼンスルホン酸、モノ-C16-24-アルキル誘導体、カルシウム塩	インビトロ試験、OECD 476	陰性
蒸留物 (石油)、溶剤で精製した重パラフィン系	バクテリア、OECD 471	陰性

**がん原性：** 本製品は、国際がん研究機関 (IARC) あるいは欧州化学機関 (ECHA) の規定する発がん性物質を含有していません。

**生殖毒性：** 分類されていません、入手可能なデータによる蒸留物 (石油)、溶剤で精製した重パラフィン系、炭酸カルシウム：  
動物実験では生殖障害はありませんでした。

物質	テスト	結果
ベンゼンスルホン酸、C10-16-アルキル誘導体、カルシウム塩	415, ラット、雄/雌、経口、28日	NOAEL $\geq$ 500 mg/kg (類似物質)
カルシウム スルホン酸ドデシルベンゼン	ラット、雄/雌、経口、20日	母体最大無毒性量: 300 mg/kg 発生最大無毒性量: 300 mg/kg

**STOT - 単回暴露:** データがないので分類されていません。ベンゼンスルホン酸、C10-16-アルキル誘導体、カルシウム塩: 入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。

**STOT - 反復暴露:** 分類されていません、入手可能なデータによる

物質	テスト	結果
ベンゼンスルホン酸、C10-16-アルキル誘導体、カルシウム塩	28日間経口亜慢性調査 (OECD 407) ラット、雄/雌	NOAEL: 500 mg/kg (類似物質)
カルシウム スルホン酸ドデシルベンゼン	180日間経口亜慢性調査、ラット、雄/雌	LOAEL: 115 mg/kg
カルシウム スルホン酸ドデシルベンゼン	ラット、雄/雌、30日	LOAEL: 250 mg/kg

**吸引性呼吸器有害性:** 入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。

既知の影響なし

## セクション 12: 環境影響情報

本製品用に特別に決定された生態毒性データはありません。以下の情報は類似した物質の成分と生態毒性に基づいています。

### 12.1. 毒性

カルシウム スルホン酸ドデシルベンゼン: 96時間LC50(対魚) = 22 mg/l (OECD 203, 類推). 2,4-トリメチルペンテンを含有するベンゼンアミン、N-フェニール、反応生成物: 96時間LC50(対魚) > 71 mg/l (OECD 203). スルホン酸、石油、カルシウム塩: 96時間LC50(対魚) > 10,000 mg/l. 鉱油:  
水生生物に対する急性毒性が事実上ありません。(LC50/EC50/ErC50 > 100 mg/l.)

### 12.2. 持続性・分解性

鉱油: 容易に生分解しません。ベンゼンスルホン酸、C10-16-アルキル誘導体、カルシウム塩: 容易に生分解しません。(類推).  
カルシウム スルホン酸ドデシルベンゼン: 易生分解性。(73%, 28日). スルホン酸、石油、カルシウム塩: 容易に生分解しません。(8.6%, 28日).

### 12.3. 生物蓄積の可能性

鉱油: 生体内蓄積しません。カルシウム スルホン酸ドデシルベンゼン: BCF = 104 (対魚、21日). log Kow 3.9 - 6;  
生物濃縮の可能性はありますが、代謝や物理的特性によって生物濃縮が低減したり生物学的利用能が制限されることがあります。

### 12.4. 土壤中の移動性

水溶性: ごくわずか。環境移動性を決定する際は、本製品の物理、化学特性を考慮してください(セクション9参照)。鉱油:  
土壌内の移動性が低いとされています。

### 12.5. PBT・vPvB評価の結果

本混合物はPBTやvPvBと評価される物質を含んでいません。

### 12.6. その他の悪影響

既知の影響なし

## セクション 13: 廃棄上の注意

### 13.1. 廃棄処理方法

汚れたものは、正式に認可された設備で焼却してください。地方自治体、国家条例を調べ、最も厳しい条件を遵守してください。未使用の製品は2008/98/ECで危険廃棄物に指定されていません。

## セクション 14: 輸送上の注意

### 14.1. UN番号

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: 適応せず

### 14.2. UN固有輸送名

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: 無害、規制なし

## 14.3. 輸送危険性分類

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: 適応せず

## 14.4. 梱包グループ

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: 適応せず

## 14.5. 環境への危険性

適応せず

## 14.6. ユーザーへの特別な注意

適応せず

## 14.7. Marpol 73/78附則IIIによる貨物輸送およびIBCコード

適応せず

## 14.8. その他の情報

適応せず

## セクション 15: 適用法令

## 15.1. 物質または混合物に固有の安全性・保健・環境規制 / 法規

日本PRTR	クラスI薬品: カルシウム スルホン酸ドデシルベンゼン	クラスII薬品: なし
--------	--------------------------------	----------------

その他の国内規制: なし

## セクション 16: その他の情報

略語一覧: ACGIH: 米国産業衛生専門家会議  
 ADN: 内陸水路による危険物の国際輸送に関する欧州協定  
 ADR: 道路による危険物の国際輸送に関する欧州協定  
 ATE: 急性毒性推定値  
 BCF: 生物濃縮係数  
 cATpE: 変換後の急性毒性推定値  
 CLP: 分類、ラベル、包装に関する法規(1272/2008/EC)  
 GHS: 世界調和システム  
 ICAO: 国際民間航空機関  
 IMDG: 国際海上危険物規定  
 LC50: 試験動物の50%を死亡させる致死濃度  
 LD50: 試験動物の50%を死亡させる投与量  
 LOEL: 最小作用量  
 NOEC: 最大無作用濃度  
 NOEL: 最大無作用量  
 N/A: 該当せず  
 PBT: 難分解性、生物蓄積性および有毒性を有する物質  
 PEL: 許容暴露限度  
 REACH: 化学物質の登録、評価、認可および制限に関する規制(1907/2006/EC)  
 RID: 鉄道による危険物の国際輸送に関する規定  
 SDS: 安全性データシート  
 STEL: 短時間暴露許容濃度  
 STOT: 特定標的臓器毒性  
 TLV: 暴露限界  
 vPvB: 極めて難分解性で高い生物蓄積性を有する物質  
 その他の略語はwww.wikipedia.orgで調べることができます。

**主な参考文献およびデータ出典:** 独立行政法人 製品評価技術基盤機構(通称 ナイト、NITE)  
 欧州化学物質庁(ECHA) - 化学物質に関する情報  
 スウェーデン化学物質庁(KEMI)  
 米国国立医学図書館毒物学データネットワーク(TOXNET)  
 化学分類および情報データベース(CCID)

**GHSによる混合物の分類方法:**

分類	分類手順
適応せず	適応せず

**関連するH(危険)-ステートメント:** H302: 飲み込むと有害。  
 H315: 皮膚刺激。  
 H317: アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。  
 H318: 重篤な眼の損傷。  
 H413: 長期的影響により水生生物に有害のおそれ。

**その他の情報:** なし

**本改訂によるSDSの変更:** セクション 1.1, 1.3, 3.2, 5.2, 8.1, 9.1, 10.6, 11, 12.2, 16.

本情報は使用物質の供給元が発行したデータにのみ基づいており、混合物自体に基づくものではありません。使用者の特別な目的に対する製品の適合性に関する保証は一切明示、暗示されていません。適合性は使用者自身が決定しなければなりません。